

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（がまん強い）ので、  
なかなかかった。

② かれは、だれにでも（やさしい）。

③ 野きゅうのれんしゅうにいつも（まじめに）  
とり組んでいる。

④ かれは、（元気な）だけに、よくあそぶ。

がまん強い まじめに

やさしい 元気な

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① (しろうじきな) なおきくんは、うそをつく  
ことができなかった。

② 先生は、<sup>せんせい</sup> ないているぼくに (あたたかい)  
ことばをかけてくれた。

③ (しんせつな) おまわりさんが、<sup>みち</sup> ていねいに  
<sup>おし</sup> 道を教えてくれた。

④ ぼくのゆめは、なにごとにもおそれない (ゆ  
うきのある) しろうじしになることだ。

しんせつな      しろうじきな  
ゆうきのある      あたたかい

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの  からえらび、かきましよう。

① (そそつかしい) まじよは、空とぶほうきを  
森にわすれてしまった。

② この森のおくには、みんなからわすれられた  
(古い) おしろがたっている。

③ (いじわるな) きつねは、森のどうぶつたち  
にいたずらばかりしてこまらせていた。

④ まじよは、(ふしぎな) まほうのことばをつぶ  
やき、きつねをこらしめた。

ふる	古い
そそつかしい	ふしぎな
いじわるな	

つぎの文の（ ）にあてはまることば

を、あとの からえらび、かきましよう。

① 今日きょうのかん字じテストは、なん回かいも  
れんしゅうしたので（かんたんだ）。

② 町まちたんけんに出でかけたら（新あたらしい）はっ見けんが  
あつた。

③ （むずかしい）算数さんすうのもんだいをとくことが  
できてうれしい。

④ ミニトマトの花はなのようすを（くわしく）  
かんさつする。

かんたんだ くわしく

むずかしい 新あたらしい

つぎの文の（ぶん）  
を、あとの  からえらび、かきましよう。

① オリンピックで日本人が活やくするニュース  
にっぽんじん かつ  
を聞くと（**明るい**）き 気もちになる。

② たんごのせつくに（**りっぱな**）かぶとかざり  
をかざってもびろう。

③ 今年も（**うつとうしい**）つゆのきせつが  
ことし  
やってきた。

④ 十五夜の（**うつくしい**）お月さまが町を  
じゅうごや つき まち  
てらしている。

うつくしい りっぱな

うつとうしい あか 明るい

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの からえらび、かきましよう。

① 東京スカイツリーに行くには、このバスが  
（べんりだ）。

② 東京スカイツリーのエレベーターには、  
江戸切子のぎじゅつをつかったガラスの  
（こまかな）もようがある

③ 水ぞくかんには、めったに見られない  
（めずらしい）魚がたくさんいた。

④ ペンギンの（おかしな）しぐさが  
かわいらしい。

おかしな こまかな  
めずらしい べんりだ

つぎの文の（ぶん）  
を、あとの  からえらび、かきましよう。

① ぼくは、きみと（おな同じ）いけんでうれしい。

② このようふくは、わたしに（ぴぴったりの）  
サイズだ。

③ とおまわ遠回りをして、いつもと（ちちがう）みち道を  
とおって帰った。かえ

④ いえとなりの家の犬いぬによく（ににた）いぬ犬をみ見かけ  
た。

おな同じ

ちがう

ぴったりの

にた

つぎの文の（ ）にあてはまることばを、あとの からえらび、かきましよう。

① 今日きょうは、雨あめがふる（**ような**）気きがする。

② あの雲くもは、くじら（**みたいな**）形かたちをしている。

③ このながめは、ゆめで見みたけしきと（**そつくりだ**）。

④ 台風たいふうが近ちかづいている（**らしい**）。

らしい      ような  
みたいな    そつくりだ